



Let's 学生広報サポーター

8月15日から17日にかけての3日間、島根大学出雲キャンパスにて全国医学生ゼミナール(以下、医ゼミ)が開催されました。医ゼミは、医療系学生によって企画・運営されており、全国各地の学生と職種の垣根を超えた学習・交流を行っています。その第68回目の医ゼミの主管校を20年ぶり3回目となる島根大学が務めました。『『生き方』を支える地域医療～島根で探す私たちの未来～』をテーマに、講演会や学生発表などさまざまな企画が行われました。今回の医ゼミで全国実行委員長を務めた山本陽南さん(医学科5年)にお話を伺いました。



(取材:学生広報サポーター S、Y)

出雲キャンパスで全国医学生ゼミナールを開催



山本陽南さん



※医ゼミサークルとは、全国の各大学において医ゼミに興味を持つ学生で構成されているサークルのことで、普段から学習や交流を行っています。

島根大学では一度、医ゼミサークル(※)が途絶えた過去がありますが、2020年に現在の医ゼミサークル「おろびょん」が発足されたそうです。今回の島根開催を契機に、おろびょんの活動が今後一層盛り上がりつつあることが期待できます。

今回のテーマには、「地域医療先進県である島根県で得た学びを、日本の未来の医療に活かしてほしい」というおろびょんメンバーの願いが込められています。医ゼミは医学生のみならずさまざまな医療系学生が集う場です。そのような場だからこそ、地域医療とそれを支える多職種連携について、あらゆる視点から考えを深めることができたそうです。山本さん自身も「医ゼミを通して身に付けた力を病院実習や今後の医療の現場でも生かしていきたい」と話してくれました。

そして最後に山本さんは「大学では学べない学びを得られる医ゼミの場が大好きです」と語ってくれました。今後の医ゼミ、そして山本さんの今後に期待が高まります。

山本さんは一年生のころから医ゼミの運営に関わっており、医ゼミのように全国の学生と関わることでしか成長できない部分を磨いてくれました。山本さんからお話を聞いたことで、これから企画の運営や他大学とも関わるができる機会があれば積極的に参加したいと思うようになりました。

SUPPORTERS VOICE

新たな価値を一緒につくる、島根大学の共創パートナー

株式会社キグチテクニクス
専務取締役 武久浩之さん



島根の地から世界の航空機産業を支える

安来市に本社を置く株式会社キグチテクニクスは、航空機に使われる金属材料や複合材料主に炭素繊維強化プラスチック(※)の試験・評価を専門とする企業です。航空機産業は世界でもっとも厳しい技術要求が課される分野。その安全を陰で支えるのがこの試験・評価です。

島根大学との包括的連携協定を締結したのは、同社が新しい金属材料の研究を進めていた時期。積み上げた試験技術に大学の最先端の知見を組み合わせることで研究を加速させる狙いがあったといいます。「キグチテクニクス構造材料共同研究講座」としてスタートした研究は、現在「次世代たたらプロジェクト(※)」の一つとして次世代たたら協創センター(NEXTA)に引き継がれ、事業化を目指して最終段階に入ったところです。同社と島根大学では、ほかに2つの共同研究プロジェクトを行っており、合計で3つの共同研究を進めています。

島根大学との連携を強化する同社には、もう一人と人のつながりを感じる物語があります。実は武久さん、東北大学での学生時代に現・材料エネルギー学部の三原学部長から直接指導を受けたという間柄。「材料エネルギー学部が新設され、三原学部長が就任したことで偶然にも再会を果たしたので」と笑顔で語ります。同社では現在、部品の壊さずに内部の欠陥を調べる「非破壊検査」を行う新工場をソフトビジネスパークに建設中。完成すれば、世

界水準の航空機部品の非破壊検査を行う拠点となります。「非破壊検査には超音波技術を用いるのですが、三原学部長は超音波研究の第一人者。非破壊検査でさらに連携を深めていきたいですね」。かつての師弟が30年以上の年月を経て、縁の地島根で再会し、今度は企業と大学という立場で航空機の安全を守るために欠かせない共同研究や人材育成に挑む。この不思議な縁に大きなシナジーを期待していると武久さんは微笑みます。

また同社では、島根大学の学生に研究現場や最新設備に触れてほしいと企業見学会への参加やインターンシップの受け入れを積極的に行っています。同社にはこれまでも島根大学の卒業生が数多く入社し、難易度の高い航空機材料試験の分野で着実に力を発揮していることもあり「連携がさらに深化することで、島根から世界に通用する技術と人材が育つ基盤はさらに強固になっていくはず」と話す武久さん。師弟の縁を再び結んだ島根の地で、世界とつながる研究と事業が続いていきます。



疲労試験機内部



島根大学より新卒入社した従業員が材料試験を実施している様子

※2018年採択 内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」

産学官連携はオープンイノベーション推進本部へ！

連絡先 オープンイノベーション推進本部

<https://www.openinnov.shimane-u.ac.jp/>

オープンイノベーション推進本部は、産学官連携の推進を図り学内外のネットワークを強化し、産学官連携の共同研究を通じてその研究成果を社会に還元し、地域産業の振興やイノベーションを創出する皆様の真の共創パートナーを目指します。



オープンイノベーション推進本部長 松本真悟



広報しまだい 発行終了のお知らせ

本学広報誌「しまだい」は2005年の創刊以来、約20年間にわたり、大学の歩みや取り組み、学生・教職員の活躍などを皆様にお届けしてまいりました。しかしながら、デジタル化の進展やSNS・動画コンテンツの普及など、情報発信の形が多様化する中で、広報誌としての役割を一定の節目と捉え、来年4月発行号の「しまだいいいVol.63」をもって終了することとなりました。

これまでご愛読いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。皆様からの温かいご支援とご意見が広報誌を育て、支えてくださいました。本誌を通じて本学に関心を寄せていただいたことは、私たちにとって何よりの励みでした。

今後はウェブサイトやSNSなどを通じて、よりタイムリーに情報を発信してまいります。詳細につきましては、最終号にて詳しくご案内させていただきます。

引き続き本学の活動にご注目いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

